

相談支援検討会	就労検討会	発達障害者支援検討会	児童発達支援管理責任者検討会
人員不足【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・別業種への転職する人がいる(給与の低さか?) ・困難ケースや支援度が高い人を担当してくれる相談支援専門員が少ない ・県外の人材派遣が高額で経営に影響する ・中堅職員で退職 → 組織体制に影響する ・初任者研修から現任研修までの期間に研修機会がなく、1人事業所の人もいて人材育成が難しい 	人材確保【継続】 人材育成【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・求人を出しても来ない ・人材定着が困難(給与の低さ、早期に退職) ・小規模の事業所が多く、送迎、利用者対応に追われ人材育成のシステム化ができていない(スキルアップ、キャリアプラン、キャリアパス) ・研修計画、OJT等がまとまっていない 	支援者の理解促進【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・支援者が学べる場所、相談できる場所がない ・支援者として「聴くスキル」を身につける場所がない ・地域活動支援センターの連携や情報交換がない。発達障害者に関わるネットワークの構築ができていない ・支援者が支援で困ったときの相談の場がない 	人材確保【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・人材募集をかけても応募する人が少ない ・人材紹介会社を利用すると高額で事業所の負担が大きい ・支援が大変な児童が多いと、職員の業務やメンタル的な負担が大きくなり、職員が離職しやすく、人材が定着しにくい部分がある
送迎・駐車場問題【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段がない ・送迎エリアが限定されている ・体験利用時には送迎してもらえない ・駐車場が確保できず、訪問サービスの調整が難航 ・送迎エリア外であることと駐車場が確保できないことでサービスに繋がらないことがある 	送迎【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・送迎車の運転手不足 ・移動手段がなく利用につながらない(移動手段…徒歩、自転車) 	送迎【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段がなく地域活動支援センターにつながらない、つながりにくい(移動手段=徒歩、自転車、電車) 	
サービス事業所【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・重心児者、強度行動障害がある方の利用できる事業所が少ない ・他害行為がある人は特に受け入れてもらえない ・児童時の視覚支援が継続されない 	制度・報酬【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用希望→開始までに時間がかかり過ぎる(新規=約1ヶ月) ・就労以外の事業所以外の場での生活支援等の支援に報酬、加算がない 		強度行動障害児への対応【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・他害や器物破損などの行動障害がある児童は職員の確保や環境調整などの対応が必要となり、受け入れ可能な事業所が限られている

相談支援検討会	就労検討会	発達障害者支援検討会	児童発達支援管理責任者検討会
<p>相談支援体制【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三層の相談支援体制それぞれの人員不足 ・加算対象外であった支援が改正により算定できるようになったが、繁雑で結果的に算定できない ・調査業務委託は継続してほしい ・新規サービス開始時あるいは事業所変更時にトラブル発生率が高い ・児→者→高齢者のライフステージにおける関与スタッフが変わる為、連携や仕組みが必要 	<p>介護保険への移行【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の障害者支援と社会参加 		<p>関係機関との連携【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージが変化した際に関係機関との連携や引継ぎが難しい
		<p>居場所の確保【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業所には継続して通所できない ・安心して居れる場所がない(個別対応、日時が不規則でよい、自由に利用し過ごせる、話を聞いてくれる場所や人がいる) ・手続きのハードルが高い(時間がかかる、手続き) 	<p>地域での居場所【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス以外の地域で過ごせる場所が少ない(預かりのニーズが高くなっている) ・子育て世帯が核家族だったり地域との交流が少なく、家庭支援の必要性が高くなっている

相談支援検討会	就労検討会	発達障害者支援検討会	児童発達支援管理責任者検討会
<p>8050問題【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の利用につながらない ・相続など専門的な相談には対処できない 		<p>課題の抽出【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害者という枠が広過ぎて課題の抽出が難しい ・発達障害者が支援者と関わらない生活をしていることも想定されることから発達障害者側の課題の掘り起こしが難しい ・発達障害者支援に取り組んでいる機関との高知市発達障害者支援検討会の連携ができていない <p>例)高知県子ども・福祉政策部障害福祉課が実施している「成人期の発達障害に関する調査」の調査結果の共有等</p>	<p>不登校支援【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにも通えない子どもをサービスも含めてどこかに繋げることが難しい ・学習面のサポートをどうするか